



No. 367
1994年6月24日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1993-4 *Believe in What You do Do What You Believe in* 行動に信念を 信念は行動に
1993-4年度国際ロータリーのテーマ/ロバートR・ハースR.I.会長

●本日の例会

6月24日/第374回例会

「退任の挨拶」

'93~94年度会 長 齊藤 茂之 君

副会長 廣江 勲 君

幹 事 吉田 用親 君



ふじの山

巖谷 小波作詞

作曲者不詳

ソングリーダー 二宮 利泰君

ピアノ伴奏 泉 晶子さん

あたまを雲の 上に出し 四方の山を 見おろして
かみなりさまを 下に聞く 富士は 日本一の山

●先週報告

6月17日/第373回例会



■夜間例会 (レディスデー) 18:00~20:00

ピアニスト 小原 孝さん

■会長報告

(1) チャリティコンサート (2月26日) の収益金の一部とニコニコボックスより、アイメイト協会へアイメイト新南3号育成費として寄付、アイメイト協会塩屋賢一理事長へ目録の贈呈をいたしました。

(2) 台北でのR.I.国際大会は、台湾の総統も参加がされて盛大な大会でした。当クラブから参加した8名は、お陰さまで全員無事帰国しました。

■慶事披露 誕生祝い 野見山 昭彦君 (6月15日) 沖 宏之君 (6月21日)

■出席報告 会員72名中 出席43名/欠席 29名 (内出席免除者8名)

6月10日修正 出席率86%

ゲスト (ゲスト2名・奨学生2名、敬称略) アイメイト協会理事長・塩屋賢一/同 令夫人・塩屋和子/若林清和 (大日方会員ゲスト)/米山奨学生・金 燦榮/R財団奨学生・Selene Ko

ご家族 (6名、敬称略) 荒木弘子/平井恵子/石束陽子/佐藤悌子/山下幸江/吉田克枝 (敬称略)

ニコニコBOX

順不同、敬称略

6月17日12件

¥39,287

93-94年度累計

¥2,850,977

多額の御寄付を有難うございました。

吉田 用親/中華航空で無事、台湾 (国際大会) より帰りました。本日、参加の奥様方、ようこそ 石崎 幹雄/妻は急用で、関西へ出張。末娘は今四月NHK番組製作に就職、札幌局勤務。今夕は単身参加となりました 柴本 芳郎/会長、幹事、いよいよ後一度で終わり。ご苦労様 相澤 成憲/きょう銀座新RCで1,200人目の来客ということで記念品をいただきました 柳澤 昭雄/今日は、来客御紹介の担当でしたが、全て会長にやって頂き、助かりました 後藤 信夫/とにかく時がたつのが遅れればと思っている今日の頃です 石束 嘉男/夏が続きます。皆様ご自愛下さい 廣瀬 哲久/夏も今日の様にさわやかですと良いですね 荒木 昭文/大村会員初めてのニコニコ担当ご苦労様です 次年度SAA委員会/打ち合わせ会の余剰金です 新旧合同会員増強委員会出席者一同 (6/13開催)/1年間会員増強にご協力ありがとうございました。新年度もどうぞよろしく 大村 富俊/皆様ご協力ありがとうございました。

●次週予告

7月1日/第375回例会

「就任の挨拶」

'94~95年度会 長 馬場 一廣 君

幹 事 後藤 信夫 君

退任のご挨拶

1993～94年度 会長 齊藤 茂之



一年間会長の職を勤めさせて頂きました、健康で完投できたことを感謝しております。会員各位に厚く御礼申し上げます。

東京西北ロータリー・クラブに入会して以来、15年間色々のことを経験させて頂きましたが、この度はクラブ会長という立場から、ロータリーを眺めることができました。貴重な経験を味わう事ができました。

期の初めに際し、ロータリー・アマチュア無線のネットを通じ、各地から会員が大幅に減少している旨のニュースが多数まいりました。我が新南ロータリー・クラブも例外では無いこと皆さんもご存じのとおりです。先輩に聞きましたら、原点に戻れ、派手なこと止

めろとのごたくせんでした。

職業奉仕のフォーラムを二回も開く事ができました。チャリティー・コンサートも成功し、チャリティーを実施できました。ダウンタウン・ロータリークラブとのマッチング・グラントも期中にきました。積残しも無くなりました。会員増強も大成功でした。等々……全部皆様のおかげです。

期の初めに会長就任の挨拶を求められた時、ついでに退任の挨拶も予定原稿を作成しておきました。今読み返してみますと、なんと読みのあまいこと、赤面の至りです。再度皆様のご協力に感謝いたします。

副会長 廣江 勲



沖さんから副会長の指名を伝えられたのが約一年半前でした。90年7月に入会させて頂いた私に何が出来るか不安で一杯でしたが、非常に短い一年間でもありました。齊藤会長・吉田幹事さんには教わることばかり多く、ご面倒をお掛けしました。更にクラブ奉仕委員長として11の委員会の委員長さん方、そして会員の皆様方に、何一つこれといったお役に立てなかったことを申し訳なく存じております。

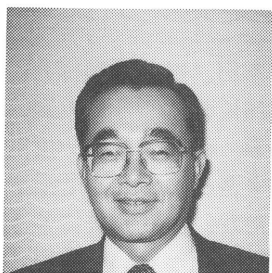
私自身にとってこの一年間は、ロータリーから得たことが極めて多く、特にクラブ奉仕部門の各委員会の知られざる地道な苦労があって、初めて健全なロータリークラブの土台が出来ることが判りました。同時に、私のようなロータリー歴の浅い会員にとって、この

理解も未だ不十分で未熟であることも率直に実感しました。

親睦活動委員会が企画した毎月の火曜会は、団欒の中に新・旧11委員長のスピーチを加え会員にロータリーの知識を与えながら、自然に親睦の輪を拓ける成果を挙げ多数の会員が毎月参加されました。この火曜会は11委員会の平素の活躍と共にクラブ活性化に多大の貢献を果しました。

期末近くに台北で開催された国際ロータリー年次大会に当クラブより8名参加しました。150ヶ国から31,000名の善意のロータリアンが集まり熱気が溢れました。120万人の会員と90年の歴史の重みがそこはかとなく感じられ、私自身にとって色々心の糧となりました。終りに次年度も益々良いロータリークラブであることを祈念致します。

幹事 吉田 用親



本年度の、当クラブの例会も本日をもって最終回となりました。省みますと、幹事という大役を仰せつかった時に、自分にこの大役が努まるか否か不安におののきながらの新年度のスタートでしたが、毎週の例会、月初の理事会、クラブ・フォーラムガバナー公式訪問の準備等、半年間は慌ただしく無我夢中で終り、今年に入って漸く少し自分を取り戻した感じがしています。

幹事の役割は、「会長を扶け、四大奉仕委員長はじめ会員各位の横のつながりのパイプ役になる事」と考え、これを常に念頭に置きながら1年間を努めて参りましたが浅学非才の身の悲しさで、なかなかそうもいかず思い悩むケースも多々ありました。しかし、時が

経過すれば、これも楽しく懐かしい思い出になるのではないかと思います。

また、ロータリーについても、幹事を努める経過の中で、初めて経験した事や理解できた事が数多くあり、勉強させて頂きましたので、今後のクラブ・ライフに役立てていきたいと思ひます。

誠に頼り無い幹事にも拘わらず、何とか1年を終えることが出来ました。これも偏に齊藤会長をはじめ蔭に日向に励まし応援していただいた理事・役員の方々や温かく見守りご協力いただいた会員の皆様のお蔭と心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、ロータリーの肝心のところを懇切に御教示いただきました、田辺バスト・ガバナー、南ロータリークラブの諸先輩に対し厚く御礼申し上げます。

国際ロータリー 年次大会

6月12日(日)～15日(水)
台北大会

第85回「国際ロータリー年次大会（台北）」に出席して

本年の「国際ロータリー年次大会」は、韓国に続く、アジア近隣国での開催ということで、R1及び、2750地区より、強力な参加要請が出され、当クラブでも、これに応える形で、御夫人2名を含む8名が参加することとなった。

率直に申し上げて、R1の年次大会の意義や目的、内容について勉強した上での参加でなく、且つ最近の中華航空機事故の直後に、この航空機会社を使つての旅行ということで、出発前の気分としては、決して盛り上がったものではなかった。

6月11日、朝6時50分羽田空港国際線ターミナルに集合、ということで5時前に起床して、眠い目をこすりながら空港に着く。前日既に出発した石坂夫妻を除いた、斉藤・廣江・宮本・伊部御夫妻の5人と共に出発を待つ。ところが、廣江氏だけが、我々より1日長いコースのため、泊江ロータリーのメンバーに組み入れられ、以後、当日の夜、石坂御夫妻を加えた全員の夕食会を除き、全く別行動を取るることとなった。気心が知れない方々の間に入って、淋しかったものと同情を禁じえない。

台北市内は30度を越す猛烈な暑さ。この暑さの中を我々5名は、おかしい日本語を話す男性ガイドに、故宮博物院他、2～3ヶ所引き廻され、午後6時頃、ヘトヘトになってホテルに辿り着く。シャワーで汗を流し、石坂夫妻・廣江氏と合流し、東銀台北支店長のお世話で、四川料理を楽しむ。

翌12日が年次大会の開会式であるが、参加人員が、3万人を超えるため、午後2時30分からと、午後8時15分からの2回に分けて、開催される。我々は、午後8時15分からの参加であるが、午後6時に、ホテルロビーに集合せよ、との事。この間を利用して、伊部夫妻・宮本氏の4人で、ハイヤーをチャーターし、台北市内、及び近郊まで足を伸ばして観光を楽しむ。

午後6時、石坂夫妻も合流して、世田谷ロータリー23名と共に、バスで会場に向かう。会場は、台北市内から、約50分の林口体育館。300台を超す観光バスが集まってくる由。午後7時頃、会場に到着。人々の群れで、迷子になったら大変と、必死に、プラカードについていく。会場は、ドーム球場のような感じで、既に、7割方の席は各国ロータリアンで詰まっていた。

開会30分前より、混声コーラスによる、各国の代表的唱歌のメドレーが始まる。自国の歌になるとあちこちで大きな歓声があがり、いかにも国際大会らしい雰囲気が出てくる。点鐘のあと、参加国が、国旗と共に紹介されたが、最近独立し知らない名前の国の多い事に驚かされる。ここでも自国の国旗紹介の時に歓声が上がっていたが、歓声の大きかったのは、地元台湾を除き、日本・韓国・フィリピン・タイ・アメリカの順であったと記憶する。パースR1会長挨拶、R1理事、大会準備委員の紹介の後、李総統代理として、連戦首相の挨拶及び歓迎の辞があったが、国際社会における中華民国の立場の複雑さを感じた。

帰路の大混雑を避けるため、終了を待たず早めに大会会場を後にしたが、ロータリーが国際的組織であること、その巨大さ、底力を実感した。

大会は6月12日から15日迄の4日間、林口体育館・国際会議センター・世界貿易センター等行事内容によって会場を分けて行われ、多彩なプログラムが盛り込まれていた。台北滞在期間が実質1日半の短いコースを選んでしまったが、もう1日か2日、余裕を取りこれらの行事に参加すべきであったと反省している。

とも角、同行の皆さんのお陰で楽しい旅行ができ、無事帰国できたことを感謝したい。
(吉田 記)



火曜会・ 新会員歓迎会

6月7日(火)
ボナベティートにて
17:00から 火曜会
19:00～21:00 新会員歓迎会
荒木、馬場、後藤、
廣江、入沢、岩瀬夫妻
梶内、河原、川鍋、
松原、宮本、宮武、
鍋島、中村、西澤、
大日方、沖、大村、
斉藤、関、柴本、
四分一、島田、高須、
武下、田中、渡邊、
横山、吉田、吉岡
(敬称略)

去る6月7日、火曜会と新会員歓迎会が赤坂のイタリア料理店ボナベティートで開催されました。本年度最後の火曜会は、まとめとして、廣江・宮武の新旧クラブ奉仕委員長をスピーカーとしての会合となりました。宮武さんからはクラブ奉仕部門の委員会の構成や活動の意義等、基本的なお話があり、又廣江さんからは本年度の感想が述べられました。雰囲気が大変盛り上がった7時頃には大村、鍋島、中村の各新会員も到着し、いよいよ歓迎会の開始。

おいしい料理が各テーブルへ運ばれる中、まずは斉藤会長の参加者への感謝の挨拶があり、引続き新会員3名の方々からも一言頂戴いたしました。皆さんすでにクラブに溶け込んでおられるようで、将来の奉仕の心強い仲間になっていただける事に間違いありません。7時半には遅れた四分一、河原各会員も姿を見せ、歓迎会は最高潮。各、テーブル、各コーナーで、来年度の打合せも兼ねたロータリー談義がはずみ、気が付いたらお開きの時刻となっていました。閉めには馬場来期会長が挨拶し、心情を述べられました。来年度は馬場政権を全員で心良くサポートいたしましょう。

親睦行事で毎度感じますのは、新南にはロータリーに熱心な方が大変多い事で、鍋島さんも「非常に親しみ易い雰囲気、社会奉仕とは何か?など真剣に考え、討議されているのに感激しました」と書かれています、全く同感です。

本年度最後の火曜会・歓迎会も32名の出席をいただき、盛況に行う事が出来ました。参加者の皆さん有難う、岩瀬夫人お疲れ様。親睦が明日の奉仕活動の土台となる事を願ってやみません。
(宮本記)

東京新南ロータリークラブ 94～95年度 理事・役員及び委員会 (敬称略)

会 長	馬場 一廣 (役員)	理 事	青野 信次	地区社 会 奉 仕 委 員	新保 國彦
副 会 長	二宮 利泰 (役員)	〃	馬場 一廣	〃 青 少 年 交 換 委 員	四分一 勝
次期会長	山川 政樹 (役員)	〃	石坂 二郎	〃 ローターアクト委員	渡部 一元
幹 事	後藤 信夫 (役員)	〃	岩瀬 秀郎	〃 拡 大 委 員	保森 登
副 幹 事	関 征春	〃	二宮 利泰		
副 幹 事	吉田 用親	〃	関 征春		
会 計	大日方 真 (役員)	〃	山川 政樹		
副 会 計	保森 登	アドバイザー	田辺 賢三		
SAA	高須 康有 (役員)				
副SAA	福田 恭三・平井 逸夫・伊部 和夫・石崎 幹雄・石束 嘉男・伊藤 弘信・加藤 昌明・勝山 英司・小湊 雅亮・村川 優・村松 秀二・鍋島 晴夫・野見山昭彦・西澤 正雄・柴藤清三郎・柴田 尚毅・坂本 實・四分一 勝・鈴木 重徳・田中 武・保森 登・				
	E.A.ZALOOM				

委員会	委 員 長	副委員長	委 員
クラブ奉仕	二宮 利泰	新保 國彦	丸山 忠典
出 席	横山 秀明	相澤 成憲	荒木 昭文・入沢 頼二・松原 秋夫・宮本 正祥・
職 業 分 類	河原 勢白		横山 秀明
ク ラ ブ 会 報	川鍋 二郎	吉田 用親	梶内 滋男・河原 勢白・宮本 正祥・柴藤清三郎・
親 睦 活 動	関 征春	入沢 頼二	新保 國彦・田中 武・山川 政樹・横山 秀明
			相澤 成憲・C.BUNSEN・廣瀬 哲久・R.H.MARINI・
			梶内 滋男・河原 勢白・川鍋 二郎・丸山 忠典・
			松原 秋夫・宮澤 博・中村 宏・佐々木忠行・
			佐藤 定宏・柴本 芳郎・島田 昌雄・武下 朗・
			谷村 義雄・渡部 一元・渡邊 治・山田 順則・
			柳澤 昭雄・吉岡 琢磨
雑 誌	荒木 昭文	佐々木忠行	野見山昭彦・大村 富俊・吉田 用親
会 員 選 考	齊藤 茂之	柴本 芳郎	田島 一郎
会 員 増 強	沖 宏之	廣江 勲	青野 信次・芦谷庸二郎・小湊 雅亮・宮武 保義・
プ ロ グ ラ ム	芦谷庸二郎	佐藤 定宏	大日方 真・柴本 芳郎
広 報	小原 健	廣瀬 哲久	相澤 成憲・石束 嘉男・中村 宏・小原 健・
ロータリー情報	渡邊 治	田島 一郎	谷村 義雄・柳澤 昭雄
ソングリーダー	佐々木忠行	山下 忠治	関 征春・E.A.ZALOOM
			入沢 頼二・河原 勢白・田辺 賢三・渡部 一元
			廣瀬 哲久・川鍋 二郎・大村 富俊・島田 昌雄
職業奉仕	岩瀬 秀郎	宮武 保義	平井 逸夫・島田 昌雄
社会奉仕	青野 信次	荒木 昭文	平井 逸夫・河原 勢白・鍋島 晴夫・西澤 正雄・
			大村 富俊・新保 國彦・渡部 一元・柳澤 昭雄・
環 境 保 全	丸山 忠典	吉岡 琢磨	吉田 用親
			廣瀬 哲久・松原 秋夫
国際奉仕	石坂 二郎	加藤 昌明	勝山 英司・川鍋 二郎・宮本 正祥・渡邊 治・
ロータリー財団	入沢 頼二	松原 秋夫	山下 忠治
青 少 年 交 換	伊部 和夫	四分一 勝	相澤 成憲・柴田 尚毅
			廣江 勲・勝山 英司・佐藤 定宏・田中 武・
			吉岡 琢磨

いつも何かに追われているような気がして「あっ」という間の一年でございました。至らぬ点が多々あったことと存じますが委員一同は週報の担当を全うすることができ感慨無量なものがございます。皆様方の暖い御支援と御協力に心から感謝申し上げます。(会報委員会一同)

東京新南ロータリークラブ

会長：齊藤茂之 副会長：廣江 勲 幹事：吉田用親
〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004
例会日●毎週金曜日・12時30分
例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

後藤信夫、相澤成憲、加藤昌明、
河原勢白、川鍋二郎、小原 健、
横山秀明、関 征春、山下忠治、
宮澤 博
●印刷／豊圓堂印刷(株)